

2006～2010年度 中期経営構想 進捗状況
【2006～2009年度 実績】

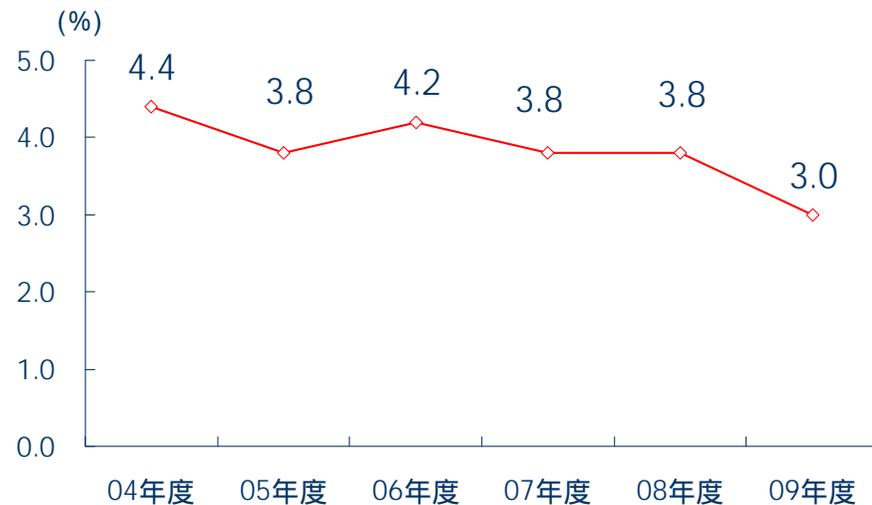
2010年5月7日

四国電力株式会社

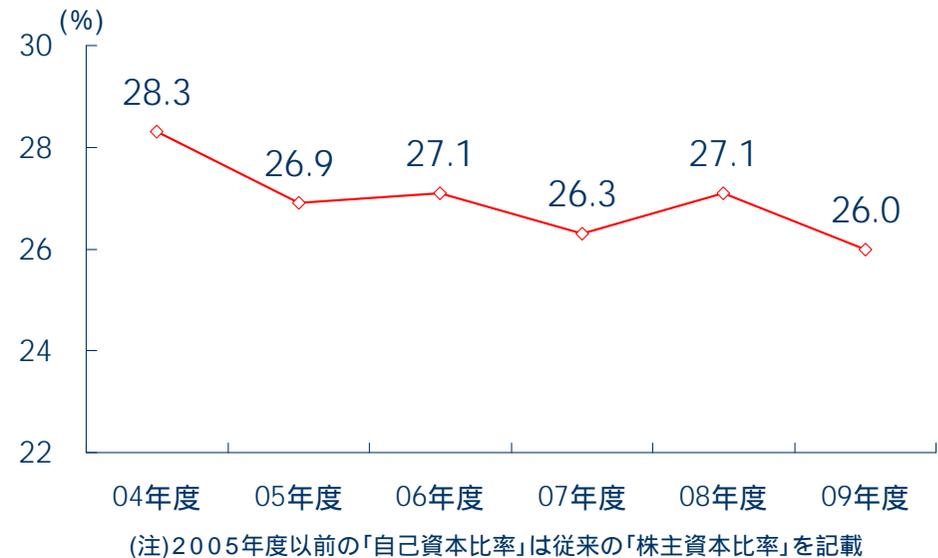
1 . R O A、自己資本比率

	目 標	
ROA (連結) [総資産営業利益率]	2006 ~ 2010年度平均で 4.0 % 以上	2009年度実績 3.0 % (4年間平均3.7%)
自己資本比率 (連結)	2010年度までの各年度末において 25 ~ 30 %	26.0 %

ROAの推移



自己資本比率の推移



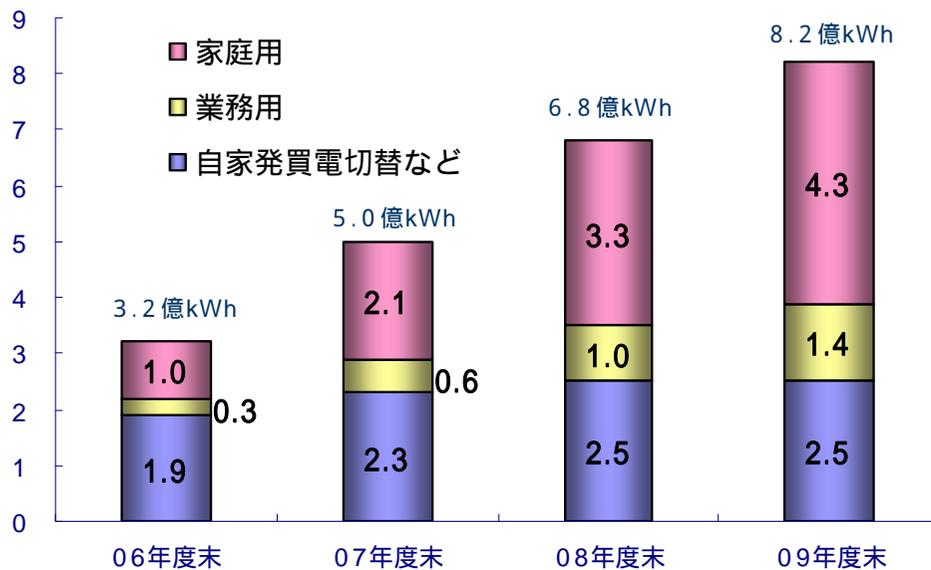
2 . 電力販売拡大

	目 標
電力販売拡大	2006～2010年度の 5年間で <u>10億kWh</u>

2006～2009年度累計実績 ()内は 目標進捗率		
8.2億kWh (82%)		
内 訳	家庭用電化	4.3億kWh
	業務用電化	1.4億kWh
	自家発の買電切替など	2.5億kWh

販売拡大 累計実績の推移

(億kWh)

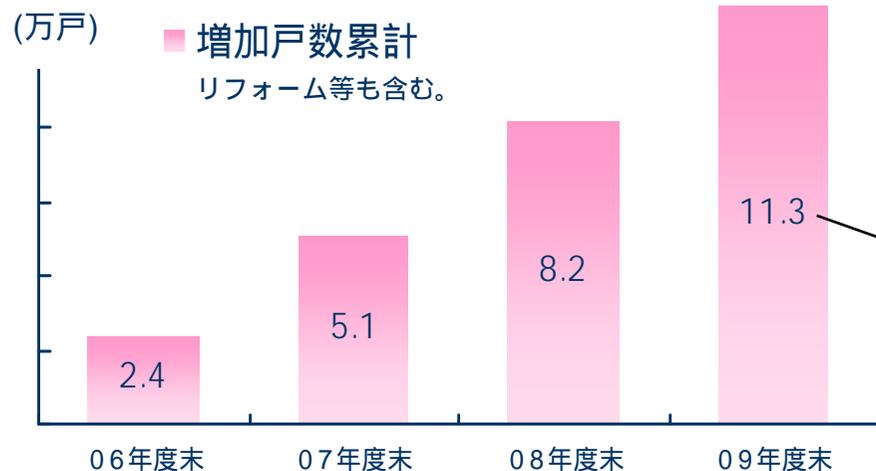


<内訳> 2009年度実績		
1.4億kWh (14%)		
内 訳	家庭用電化	1.0億kWh
	業務用電化	0.4億kWh
	自家発の買電切替など	0.0億kWh

2. 電力販売拡大（電化住宅採用戸数・業務用電化開発容量）

3

電化住宅採用戸数



<目標> 2006～2010年度の5年間で
10万戸の増加を目指す

2006～2009年度累計実績
11.3万戸 増加
(うち、2009年度は3.1万戸増加)

業務用電化開発容量



<目標> 2006～2010年度の5年間で
10万kWの増加を目指す

2006～2009年度累計実績
13.7万kW 増加
(うち、2009年度は3.8万kW増加)

図1 . 新設住宅着工戸数に対する電化住宅比率の推移

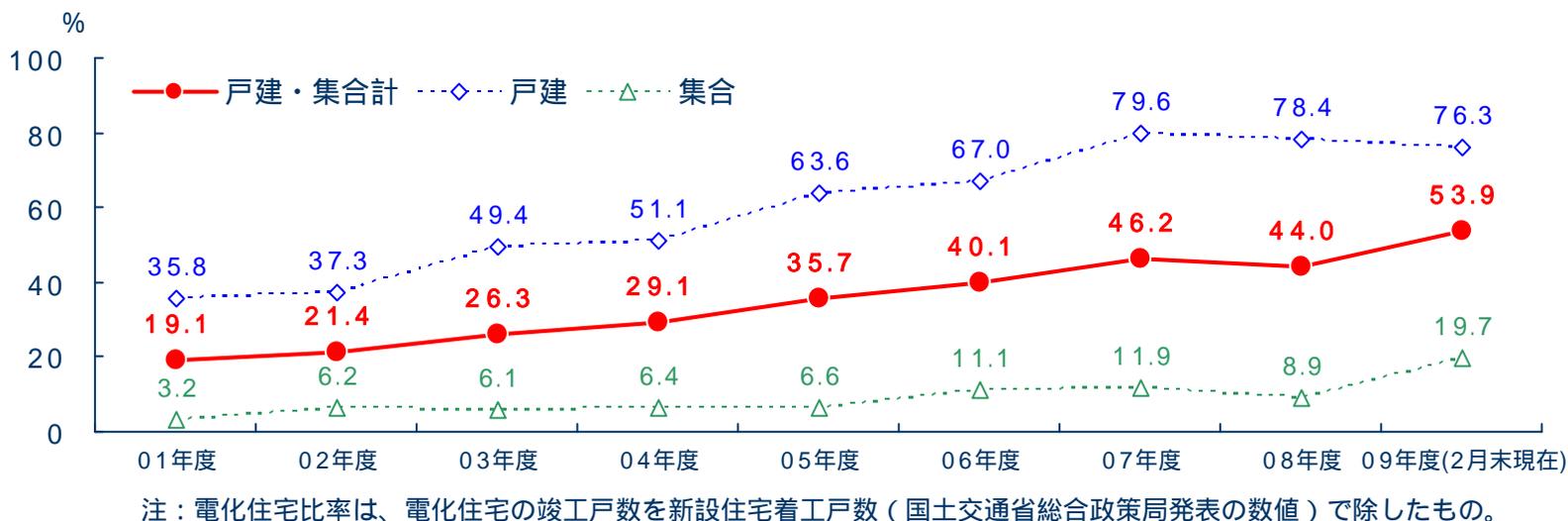
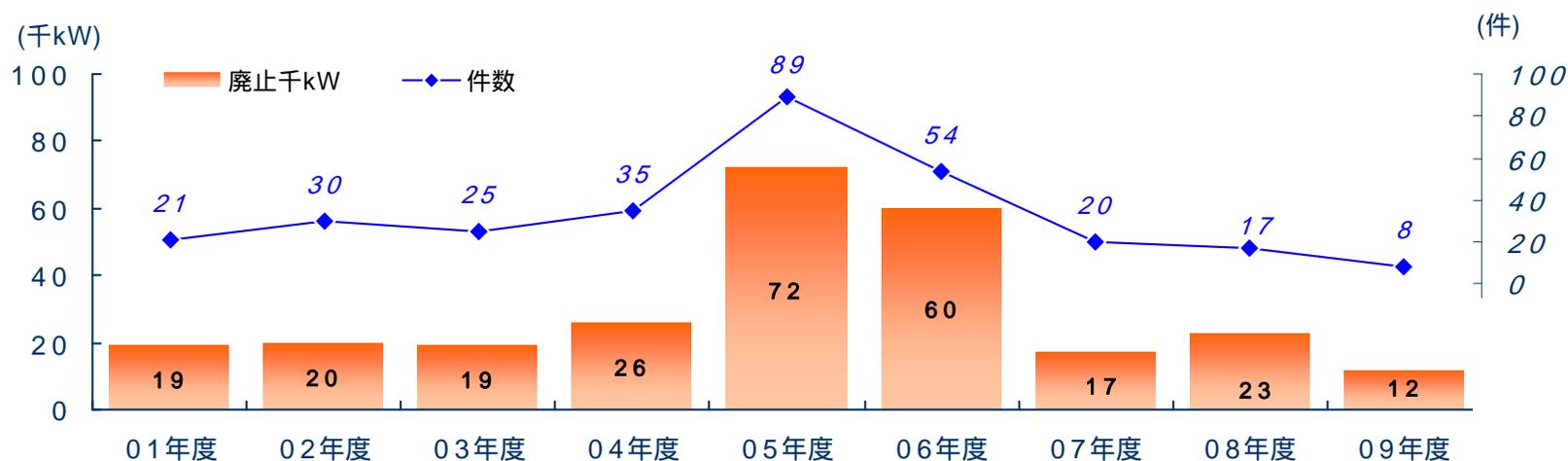
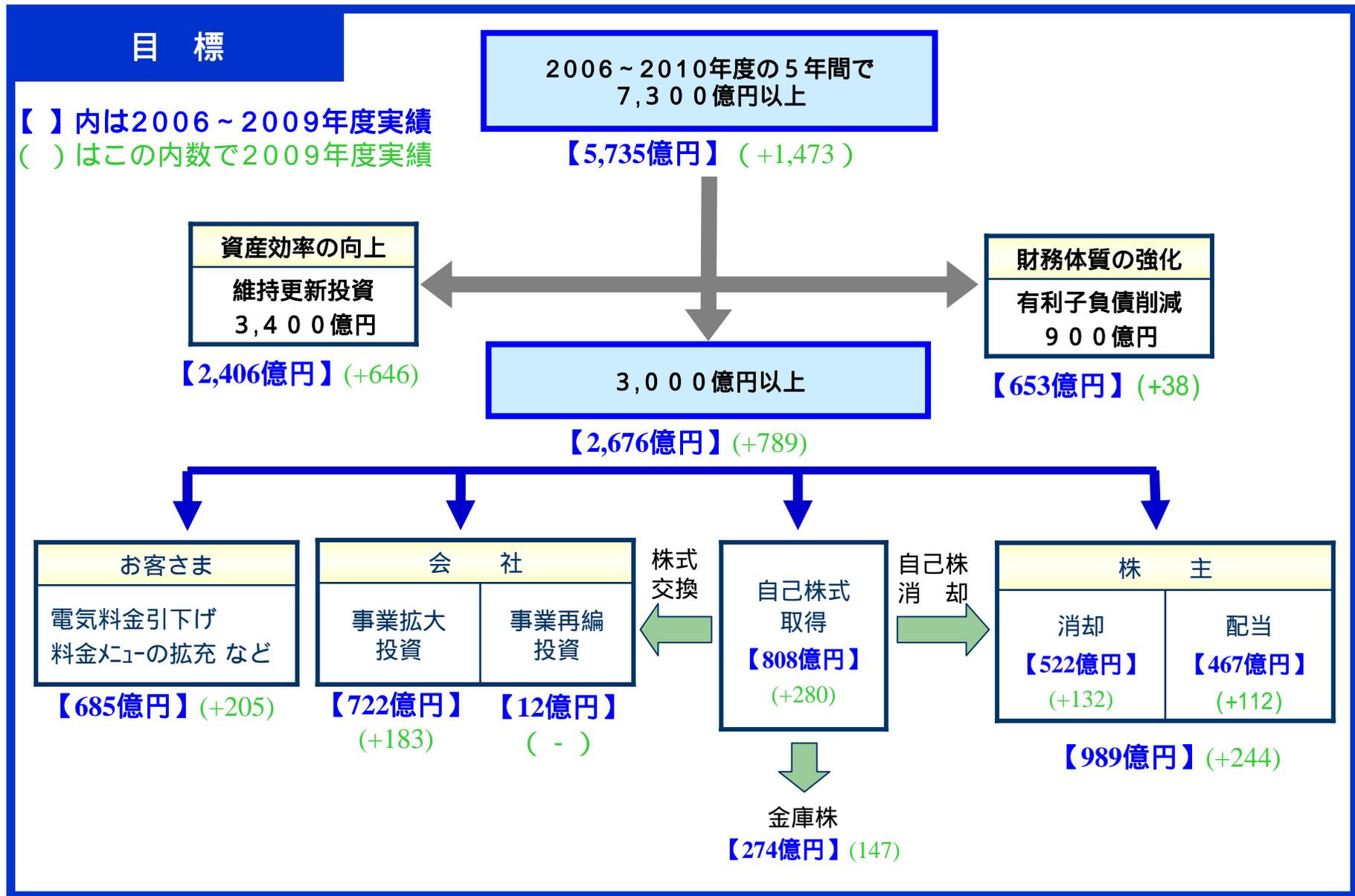


図2 . 自家発廃止の状況





おことわり

本プレゼンテーションに含まれている業績見通し、目標等、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要素により、記載されている見通し等とは異なる場合があります。ありうることをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、競争状況、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。

四国電力株式会社 経営企画部 企画グループ E-mail : ir@yonden.co.jp



四国電力株式会社

<http://www.yonden.co.jp/>